

令和3年度 鳴門市学校評価書

鳴門市第一小学校

I 経営の重点に関すること

学校教育目標

A:大変よい, Bまあまあよい, C少し課題を感じる, D:課題である

項目	内容	中間評価	年度末評価	コメント
重点目標(重点的に求める価値目標)	学校教育目標の実現に向け、教職員の総意を結集し、一層の教育における質の向上をめざす。	/	B	サーバントリーダー法を取り入れ一定の成果はあがった。次年度も継続する。
具体的な取組 (組織として価値観を揃えて取り組むこと)	学力向上に向け、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。	/	B	「深い学び」に課題がある。学びのプロセスを意識した授業改善が必要である。
	自分や他人のよさを認め合い、相手の立場に立って感じ、自分が取るべき態度について考え、自ら判断して正しい行動をする。	/	B	相手の気持ちを考えることができる児童が増えた。自己肯定感を高める必要がある。
	「早寝・早起き・朝ご飯・外遊び」の推進と体力の向上を図る。防災・減災に対する意識の高揚と危険回避能力を身に付ける。	/	B	態度化・行動化までには至っていない。自分事として取り組める方策を考える。
	家庭や地域、関係機関等とのつながりを深め、安全・安心、信頼される地域に開かれた学校づくりを推進する。	/	B	鳴門モデルを活用し、CSの推進に努める。
評価指標 (具体的な求める子どもの姿・行動目標)	あいさつ - 気持ちのよいあいさつができる子ども -	/	A	児童会役員、6年、いじめ防止子ども委員会、教職員中心に全校的に取り組んだ。
	なかよく - だれとでも仲よくできる子 -	/	B	次年度においても継続する。
	最後まで - 最後まであきらめずに努力できる子 -	/	C	保護者68%児童82%が肯定的な回答。次年度における課題と考える。
	チャレンジ - 目標に向かってチャレンジできる子 -	/	B	

スローガン	かしこく やさしく たくましく 可能性にチャレンジする ー小っこ
-------	----------------------------------

学校の自己評価・改善方針	<p>○CSを活用して、学校経営方針に掲げる「社会に開かれた学校」をめざし、学校と学校運営協議会が協働推進してあいさつ運動と防災教育に取り組む。</p> <p>○学校教育目標の周知や学習の様子紹介については、様々な機会(学校だよりの配布拡大、HP、学校行事、学校評議員会)を捉えて一層の充実を図りたい。特に、YouTube限定配信を効果的に活用したい。</p> <p>○教師力の向上については、徳島型メンター制度を推進する。授業改善では「深い学びの実現」と「個別最適な学び」に取り組む。</p>
--------------	---

学校関係者評価	<p>昨年度以上に、教職員や子ども、保護者からのアンケート結果が良い。これは、安全・安心、信頼された学校運営ができている証拠である。子どもたちの豊かな成長には、学校教育と家庭教育の充実・地域との連携が欠かせない。継続して基本的な生活習慣の定着や学力の向上、学校行事・PTA活動への参加など、家庭と連携して取り組んでいくことは大切である。次年度においても、「子どもにとって一番よいこと」を判断基準に、CSを実効的に活用して学校・家庭・地域が協働して一小教育活動の充実・発展をお願いしたい。</p>
---------	---

II 学校アセスメント

A:大変よい(90~100%), Bまあまあよい(89~80%), C少し課題を感じる(79~70%), D:課題である(69~0%)

大項目	中項目	学校の取り組み	中間評価	年度末評価	子ども調査			保護者調査			年度末評価	A, Dについてはコメントを付す	
1 学習指導の充実	学習意欲の向上	魅力的な授業展開の工夫	/	B	1	先生は、毎日の授業を分かりやすく教えてくれる	/	A	1	子どもは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる	B	教材研究や教材・教具の作成等よくわかる授業づくりに熱心に取り組んでいる。	
	基礎基本の定着	学力テスト・ステップアップテスト	/	B	2	漢字や計算の力がついてきている	/	B	2	子どもの学力状況を把握している	A	朝時間の学習の定着(計算・漢字)と小テストを継続して行った。	
		単元末テスト・中間テストなど	/	B	3	テストでは、思い通りの点数が取れている	/	B	3	学校は、基礎的な学力の定着に取り組んでいる	A	子どもの学習状況を個人懇談や連絡帳、電話連絡等で知らせている。	
		思考・判断力の向上	学力テスト・ステップアップテスト	/	B								CD版「学習ガイド」を活用している。
	体力の向上	単元末テスト・中間テストなど	/	C									
		体力テストの結果など	/	B									全校児童が実施している。
	学習規律の定着	体力つくりにつながる活動の実践	/	B	4	進んで運動し、体力づくりをしている	/	B	4	学校は、子どもの体力づくりに取り組んでいる	B	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い休演習の中止、体育授業の制約があった。体育授業の工夫と外遊びを奨励した。	
		学習の仕方のルールづくり	/	B	5	授業中、人の話を集中して聞いている	/	A	5	学校は、子どもの学習規律の定着に取り組んでいる	B	全教職員で「話す・聞くスキル」を見直し定着を図ったが、一部の児童は不十分である。	
	課題解決的な学びの充実	授業観察	/	B	6	宿題をきちんとしている	/	A	6	子どもは家庭学習(宿題)をしている	A	家庭学習の手引きの見直しと家庭訪問時に、保護者へ配布し協力してもらった。	
		「めあて」や「まとめ」を表示した授業実践	/	B									めあての提示はできている。主体的な学習態度につながる「確かな振り返り」までには至っていない。
	習熟に応じた指導の充実	協働的な学びの充実	グループ学習の実践	/	C	7	グループで調べたり、話し合ったりする学習が好きである	/	B				新型コロナウイルス感染拡大防止のため、授業形態に制約があった。
		ICT等を活用した指導の充実	ICT活用の授業の実践	/	B	8	タブレットを使った知学習が好きである	/	A				タブレットとデジタル教科書を効果的に活用する。
	学びに向かう集団づくり	帰属意識・規範意識・互いに高め合う学級づくり	/	B	9	安心して学習に取り組める	/	B					自己所有感を高めるため、学びに向かう集団づくりの実現に向けて取り組む。

大項目	中項目	学校の取り組み	中間評価	年度末評価	子ども調査	中間評価	年度末評価	保護者調査	年度末評価	A, Dについてはコメントを付す
15 生徒指導の充実	自己肯定感の向上	全ての子どもを全ての教職員で指導する体制づくり	/	B	27 自分にはよいところがある	/	B	7 子どもは、自分のいいところを理解している	C	自他の良い所を認め、紹介する活動を推進し、自己肯定感の向上に努める。
		ほめて育てるを基本とした生徒指導の実践	/	B	10 先生は、学習や運動、生活で頑張ったときほめてくれる	/	B	8 子どもがよいことをしたときは、褒めている	A	全教職員でポジティブな行動支援を心掛けた。
	自己指導力の向上	問題が起きたとき、子どもが自ら考え、判断できる指導実践	/	B	11 物事がうまくいかない時、粘り強く頑張り続けることができる	/	B	9 子どもは、何事にも粘り強く取り組んでいる	D	体験活動において具体的な目標をもたせ、プロセスを重視して成功体験や達成感を味わわせる。
		家庭訪問等により、家庭と連携した指導体制づくり	/	A	12 自分の判断で、行動するようにしている	/	B	10 子どもが粘り強く問題に取り組めるように、家庭でも応援している	A	めざす子ども像に位置づけ、全教職員が協働して取り組んだ。
	生活習慣・規律の定着	生活習慣の実態把握と向上への取組	/	B	13 身の回りの整頓は、自分でできている	/	B	11 子どもは、自分の身の回りのことを自分でしている	B	
		言葉遣いについての全校的な指導	/	C	14 早寝・早起き・朝ご飯ができています	/	B			次年度の重点課題として取り組む。
		きまり、約束の遵守	/	B	15 きまりや約束ごとを守って生活している	/	B	12 子どもはルールを守る意識が育っている	A	学校・学年だより等で啓発活動を行う。
		あいさつについての全校的な指導	/	A	16 先生、友達、近所の人にあいさつをしている	/	B	13 子どもは、先生、友達、近所の人に進んであいさつをしている	B	児童会やいじめ防止子ども委員会中心に取り組んだ。CSの柱として取り組む。
	児童理解	定期的な校内委員会の開催	/	B		/		25 先生は、子どものことを理解するように努めている	B	ケース会議や校内支援委員会を開催し取り組んだ。
24 特別活動の充実	協同力の向上	学級活動のチェック	/	B	17 学級の係当番の仕事、掃除などに積極的に取り組んでいる	/	A			感染対策を講じながら、制限制約をして実施した。
	自治的能力、責任感の向上	集会活動の実践	/	C	18 学級の係当番の仕事、掃除などに積極的に取り組んでいる	/	B			コロナ感染拡大防止のため、学校行事を中止したり制約したりするなか、工夫をして実施した行事もあった。
26 進路指導の充実	自ら主体的に判断して、キャリアを形成する力の向上	キャリア教育の計画の実施	/	C		/		15 子どもと、社会や将来のことを話し合っている	D	参観授業での実施や学習内容を家庭でも話し合えるよう工夫する。
	社会に関心を持ち、社会に関わる力の向上	ボランティア活動などの実践	/	C	19 地域の行事などに参加している	/	D			本年度も感染症拡大防止のため地域とのつながりを深められなかった。
29 心の教育の充実	子どもが相談しやすい環境の充実	子どもの相談体制の確立	/	B	20 先生は、困ったり、悩んだりしたときに、相談に乗ってくれる	/	B	16 子どもは学校のことをよく話してくれる	B	家族で会話をする機会をつくるための方策を学校だよりなどで知らせる。
	不登校支援の充実	不登校児童・生徒に対する支援計画の作成	/	B	21 学校へ行くのが楽しい	/	B	17 子どもは、楽しんで学校に行っている	B	86%の児童が肯定的な回答、不登校・不登校気味の児童への支援を行う。
32 安全教育の充実	交通安全意識・行動力の向上	交通事故などを未然に防ぐ取り組み	/	A	22 交通ルールを守って生活している	/	A	18 子どもが交通ルールを守るよう、働きかけている	A	安全教育・指導の充実が図られた。
	防災意識・行動力の向上	防災訓練などの取組	/	A	23 避難訓練などは、真剣に取り組んでいる	/	A	19 子どもと防災のことについて、家で話し合っている	D	学校が防災についての話題を発信し、家族で話し合う機会をつくる。
		幼・小合同避難訓練の実施	/	B		/		22 学校は、安全教育について熱心に取り組んでいる	A	幼・小・地域・自主防災会・自治会が連携して実施できた。
35 人権教育の充実	人権感覚の向上	いじめ対応などの確認	/	B	20 先生は、困ったり、悩んだりしたときに、相談に乗ってくれる	/	B	20 学校は、いじめや生徒指導上の問題について、早く適切に対応してくれる	B	迅速で丁寧な対応に努めている。
		人権意識の向上	/	B	24 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う	/	A	23 学校は、人権教育に取り組んでいる	A	自分事として考え、態度化・行動化に向けて取り組む。
	いじめ防止子ども委員会の設置と活動の推進	/	A	25 友達と仲よくしたり、親切にしている	/	A	14 子どもは、人のことを大切にして、友だちと仲良くしている	A	次年度においても、あいさつ運動の推進と、よいことをした児童を紹介していく。	
37 特別支援教育の充実	個別の支援計画に基づく指導の充実	支援が必要な子どもの指導計画の作成	/	B		/				機会を捉えて校内支援委員会を開き、全員で支援を行った。
		合理的配慮の取組	/	B		/				
	通級学級との交流による社会対応力の向上	指導計画の全校での確認	/	A		/				
40 開かれた学校づくり	情報の提供	学校・学年・学級通信等の発行やホームページの充実	/	A		/		21 学校から、情報が十分提供されている(学校・学級だより・YouTube)	A	マチコメールやHP、YouTube配信で情報を発信できた。
	地域・家庭のニーズの把握	地域・家庭との情報交換	/	B		/				
	保護者会の充実	懇談の機会の充実	/	B		/				
	PTA等との連携	定期的なPTA役員会等の開催	/	B		/				PTA役員会をZOOMで開催した。
			/			/				

	大項目	中項目	学校の取り組み	中間 評価	年度末 評価	子ども調査	中間 評価	年度末 評価	保護者調査	年度末 評価	A, Dについてはコメントを付す
45	学校経営 の改善	校務分掌の組織化	校務の見直しや組織の改廃	/	B						教職員の長所を見極め適材・適所に配置し、人材育成に努める。
46		教員の参画意識を高める	学校経営・運営ビジョンの共通理解	/	A						概要版や合い言葉を使って簡単・明瞭にし、年度当初に説明・協働を促した。
47		学校事務の効率化、効果的な会議	情報の分類・整理の推進	/	A						グループウェアや校務支援システムを活用し、事務の効率化が図れた。
48		学校運営の参画	学校評議員会の開催	/	B						年2回開催し、学校運営や教育活動に対して、実効的な意見をいただいた。
49		事務職員の参画推進	事務職員の積極的な校務運営の参画	/	A						事務主任が、徴収金業務の一元化と備品の精選・削減を図った。
50	教員研修 の充実	共通テーマにそった研修	鳴人研や小教研の研究主題に沿った研修	/	A						研究主題をうけ本校の人権教育におけるめざす子ども像に迫ることができた。
51		研修会等への参加と報告	受講研修内容の伝達の推進	/	B						校内研修や職員会時に資料を用いて伝達した。
52		若手教員の教師力の向上	徳島型メンター制度の推進	/	B						組織づくりと研修の実施、メンター制通信の発行などをした。
53		特色ある研修	主体的・対話的で深い学びの実現に向けての授業実践	/	B						深い学びを具現する授業づくりを行う。
54											
55											
56											
57											
58											
59											

学校の自己評価 改善方案	<p>○主体的・対話的で深い学びの実現と学習課題の解決に向けて、粘り強く取り組む子どもの育成を図る。</p> <p>○児童が正しい言葉遣いを身につけられるよう家庭と連携しながら継続して推進する。</p> <p>○いじめ防止に向けた体制(いじめ防止子ども委員会を含む)や取組を検証し、いじめを決して許さないことや自己肯定感、自己有用感を高める指導の充実、認め高め合う学級づくりを実現する。CSで、防災教育とあいさつ運動の推進に取り組む。</p>
-----------------	---

学校関係者評価	CSを活用して、学校経営方針に掲げる「社会に開かれた学校」をめざし、学校と学校運営協議会が協働推進して、子どもの学びの質の向上を目指してもらいたい。先生方には、言葉による教育を大切にして取り組んでいただき、児童に語彙力と思考力を培い、考える力となる礎を築いてもらいたい。また、次年度においても、豊かな心の育成や生活指導・安全指導・健全育成の推進に向けて、全校体制で指導を続けていただきたい。
---------	---